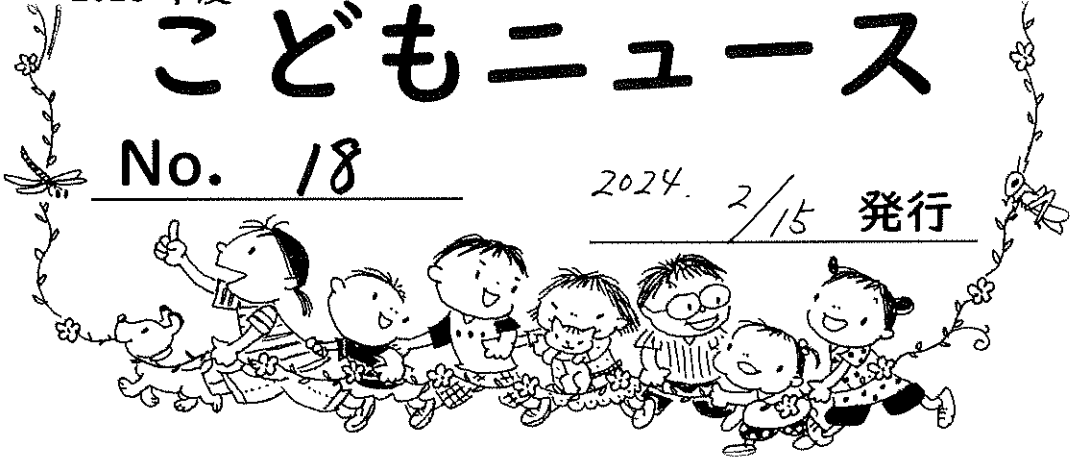


こどもニュース

No. 18

2024. 2/15 発行



【一緒に遊ぼうの日、ご参加ありがとうございました！】

1月29日～2月2日までお天気にも恵まれ無事に「一緒に遊ぼうの日」を実施することができました。臨時総会でもお話ししましたが、先日延べ7園の幼稚園、保育園、こども園から20名以上の保育者の方々が3日間にわたり見学に来られました。その方々は「主体的な子ども達の遊びと生活」について学びたい、実際の子ども達の姿を見たいと来園してくださったのです。午前中いっぱい見学された後、皆さんが一様におっしゃってくださったのは「子ども達の顔がイキイキとしている」「表情が豊か」「自分が何をしているか、何をしようとしているかを語る子が多い」などなど……。またお片付けから次の活動に移っていく生活の流れの「ゆったりさ」についても保育者の視点でたくさんの感想をいただきました。「先生たちの大きな声（「早く片付けて！」「もうお片付けでしょ！」）などが聞こえない」、「流れるように場面次の活動に変っていくのは驚き！」など……。

遊びについて「語る」子ども達が多いのは、やはり主体的な「つもり」があるからでしょう。泥団子についてどこの土がいいか、水分はどのくらいが適切か熱く語る（笑）これはたぶん「一緒に遊ぼうの日」でおうちの方々の中にも経験された方がおられるのではないのでしょうか。

今回の見学ではお客様のカバンを持ってあげながら園内をくまなく案内してくれた年長さんもいたようです。

「園を紹介する」ということも「自分のようちえんだから」と自らが主人公である感覚の現われですね。

この年長さんは卒園制作として作っている「椅子」



についても、どのような工程で作っていくのか、作業方法だけでなく「しめきりがあって、そこまでにするんだよ」等、取り組み方の全体の流れまで年長さんが使っている椅子カレンダーを示しながら説明したとか（笑）。

レクチャーを受けた見学の方は「園生活が完全に子ども自身のものになっている」と驚かされていました。このように自分で選び、工夫し、夢中になって遊ぶ生活は今後の主体的な生き方に繋がるのではないのでしょうか。そしてその遊びや生活は子ども達一人ひとり、本当に違います。

私達はこれからも、一人ひとりの遊びや生活を大切に「愛され、育ちあう」保育にあたってまいりたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

【臨時総会へのご出席ありがとうございました！】

9日、神様の見守りのもとに父母の会臨時総会が無事に執り行われました。委任状含め、皆様の積極的なご参加により総会が成立しました。各議案の説明と承認、引き続いて2024年度の父母の会役員を選出が行われ、こちらも無事に新年度の役員の皆様が決まりました。例年のことですが委任状も含めて出席者の多さ（意識の高さ）に驚かされ、会長以外が話し合いや立候補で決まっていく、その様子を見るとおうちの方々の主体性があるからこそ、子ども達の主体的な生活が守られているのだと感じます。

あらためて1年間、父母の会をとりまとめ、園をお支えくださいました今年度の役員の皆様には心からの感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

【残りわずかな日々を丁寧に・・・】

2月も半ば、3学期も本当にあとわずかになりました。残りの日々を楽しく丁寧に過ごしていきたいと思えます。

お別れ遠足では一緒に遊んだ年長さんと手を繋ぎ、学内の2コース（ペンギン山～ランドルフ周回コース・みんなの森～薬草園コース）をゆっくりたっぷり散策します。学内にその様な環境があることにも感謝です。

お昼は園内の好きなところでシートを広げピクニック！

おうちの方々には遠足で出かけている間、連絡委員さんが企画してくださる園内の大掃除をお願いしております。コロナ禍には実施できなかったクラス内も入っていただけるようになりました。お忙しい中のお働きに心から感謝いたします。

今回の子どもニュースは「一緒に遊ぼうの日アンケート特集」です。たくさんのご感想、ご意見をありがとうございました。

児玉 芽  ♪



いっしょにあそぼうの日を終えて…



アンケートにご協力いただきありがとうございました。おうちの方からのアンケートと共に『いっしょにあそぼうの日』を振り返りたいと思います。そこで子どもたちの姿や成長と一緒に喜び、子どもたちにとって大切なものを再確認しましょう。

・おうちの方からのアンケート □園からのコメント

◆ 体験してみて… ◆

- ・子どもが、いつもなんとなく話していることが一致しました。
- ・「こどもニュース」で見るとような実際の子どものやりとりを見守ることができて、とにかく面白かったです。
- ・遊びを「見る」のではなく、まさに「いっしょにあそぼう!」という時間で、とても楽しかったです。
- ・園長先生や他の先生、保護者の方が本気で投げ合う姿、金城だからこそ見られる姿ですね。子どもも大人も皆楽しんで、ステキな環境だなと思いました。(私も思わず本気で投げましたが、楽しかったです)
- ・息子が「したい!」ということでドッジボールに参加しましたが、先生方も本気で勝負していたので、ハラハラドキドキの気持ちを味わうことが出来、とても楽しかったです。
- ・ただ見守るだけではなく、先生方も親も思いっきり遊ぶことに子どもたちも楽しそうで充実した日だったと思います。

まさに『百聞は一見にしかず』ですね。普段、子ども達から聞いていたことが、(ああ、これね)と心にストンと落ち、理解できたことも多くあったのではないのでしょうか。点が線や面として繋がった！日だったと思います。また観ているだけではなく、いっしょに体験するからこそ、ドキドキ感や達成感、また悔しさなど様々な心の動きを感じたということもあったのではないのでしょうか。

何よりも大人が真剣に楽しむ姿を見たり、その空間を共有することが、子ども達にとって大きな刺激になったと思います。『いっしょにあそぼうの日』以降、子どもたちの遊びがより広がりを見せているように感じています。

◆ 子どもたちの姿から… ◆

- ・子どもたちは、常にアンテナを張っていて、他の子がやっている遊びを取り入れたりして、より複雑でリアルになっているなあと感じました。(特に年長は)
- ・それぞれの遊びを楽しむ子ども達はみんなキラキラしていました。一人一人が主役ってこういうことなんだと改めて思いました。
- ・やってみたいという子ども達のパワーは素晴らしいなあと感心していました。

- ・1日、子どもの自由なところ、みんなで行う遊びのルールを守っているところなど見れて良かった。
- ・周りのお友達と遊ぶ時には、受け身になるだけではなく、自分からいろんな方法や考えを提案したりしている姿に成長を感じました。
- ・当日の朝から「僕の後についてきてね」「教えてあげるからね」と張り切っており、とても頼もしく感じました。

この時期だからこそ、見ることでできた子ども達の成長した姿がそこかしこにあったと思います。入園・進級当初には想像もつかなかった遊びをリードしたり、案内する頼もしい姿に感動した方も多くいらしたようです。一人ひとりのテンポは違いますが、園生活の積み重ねによって、幼稚園が自分自身のものになり、主体的に生活している子ども達に頼もしさを感じます。



◆ 様々な関わりの中で… ◆

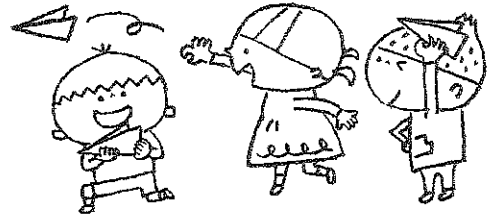
- ・「クラスの仲間」になっている感じがして、頼もしく感じました。
- ・笑うこともあり、怒ることもあり、泣くこともあり…さまざまな感情を体験している姿を見ることができました。
- ・私の知らない娘の姿をたくさん見ることができたのと同時に、娘のことを思って行動してくれるお友達の姿を見ることができ、とても良い時間を過ごすことができました。相手のことを想いやれる金城幼稚園らしい姿だなと思いました。
- ・モンキーブリッジで友達が渡ろうか葛藤している様子を急かすことなく優しく待っていて、こんなにも優しい子に育っていたんだと感動しました。
- ・息子がわがママを言った時に年長さんや月齢の高い年中さんが受け止めてくれ、でも息子も年少さんには優しくできて…という姿を見て、たて割り保育はそれぞれの子にとってすごく良いなあと感じました。
- ・年中長さんの発想を真似したり、刺激を受けている様子で、異年齢クラスというとても良い環境で活動できているんだなと思いました。

ひとり遊びから集団での遊びへと変化し、様々に関わりを持つ年齢になってきた子ども達は、そこで沢山の学びをしています。一緒に遊びながら、気持ちや思いが伝えられるかな、どう伝えたらいいんだろう…私たちが想像する以上にいっぱい、いっぱい考えているのではないかと。また関わるからこそ喜び合い嬉しかったり、時に怒ったり泣いたりという心の動きもあり、友だちの気持ちも分かるようになるのだと思います。そうした経験を繰り返し、お互いを知り徐々に仲間となっていく姿を間近に見ると、他者を受け止めることのできる力の素晴らしさに感動します。

◆ たっぷりとした時間の中で… ◆

- ・改めて遊びの時間の長さ・種類の多さ・展開の豊富さに感心しました。
- ・子ども達の自由で豊かな発想に感心させられ、お互いに真似したり、されたり、遊びの中にある成長を間近に感じることができました。
- ・遊びを通して、子どもたちが世界を知っていくと言うことをひしひしと感じた時間となりました。
- ・自分が納得するまでには、たくさんの時間が必要です。中途半端に終わるとまた満たされない気持ちを持ち越すことを考えると、子どもたちがしっかりと自分を探求できる時間が、確保されていることの素晴らしさを感じました。

遊びをとことん追求したり試行錯誤するためには、時間が必要です。たっぷり時間をかけて満足するまで遊ぶと「今日はここまで、明日はこの続きから…」と切り替えて片づけたり、展開への意欲や興味が生まれてくるのではないのでしょうか。こうした考えから、遊びの中で子ども達が十分満足できるように時間も環境も確保したいという思いをもち、遊びの時間をたくさん取っています。

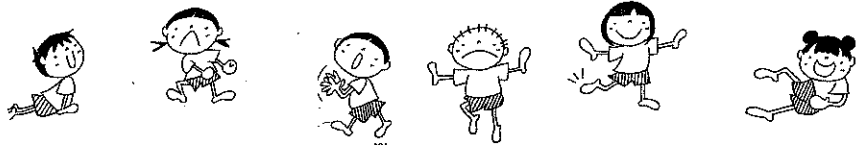


◆ 社会生を育てている子ども達の生活に混ざってみて… ◆

- ・園庭の中で、みんなそれぞれの遊びを「ぶつからない様に、怪我をしないように」等、気をつけながら遊んでいて、感心しました。
- ・自分のやりたいことと、それを社会にどう繋げていくか？それらが融合した場面に何度も出くわし、感動しました…。改めて、私が社会経験させてもらったような気分です。
- ・あれだけ自由なのに、園の空気がとても穏やかなことにも驚きました。小さな事件はたくさんあるのかもしれませんが、全体として満たされた園の空気に幸せを感じます。場面の切り替えもとても穏やかに、いつの間にか!?移行していく…自然と次の活動に移行していく姿は本当に魔法でした。
- ・一見、混沌とした世界のようにも見えるのですが、子どもたちはきちんとルールや秩序を感じ取っていて、それぞれの自由な遊びが保障されているうえに、みんなの遊びがいろんなところで繋がっていることを感じました。
- ・無秩序に見える子ども達の自由奔放な世界の中に「神の国」「神の愛」があるように感じた

遊びながら、生活しながらルールができてくるということがあります。私たち大人が「これは、こうして、あれは…」と全て決めて守るようにする方法もあるかもしれませんが。しかし、子ども達が共に生活する中で、どうしたら安全で、より楽しく遊べるかを自分たちでも考えて欲しいと願っています。共に生きるため、より楽しく一緒に暮らすために、時に子どもたちと一緒に話し合い、思いや考えを聞き、納得して決めていきます。当然私たち保育者も一緒に生活する一員として仲間に加わり、思いや考えを伝えていきます。そうした時、子どもたちからも驚くほど良いアイデアが出てきます。

おもちゃを取り合っていたら「順番に使ったら?」と提案する子、泣いている友だちがいたら「どうしたの?」「だいじょうぶ?」と声をかける子、どれも社会性の芽生えを感じる場面ですね。誰もが心地よく、みんなで一緒に暮らしていくために自然にルールを守ったり、お互いに配慮するようになる子どもたち。私たち大人も見習いたいものです。



◆ 主体性って… ◆

- ・遊びを自分で「決める」力、まさに主体性でいっぱい!
- ・「明日はコレをやりたい」と話していたことを実際に行い、その中で出会えたお友達とコミュニケーションを取りながら、また新しいことに取り組んでいく様子をそばで見て、主体的な遊びを感じることができ嬉しかったです。
- ・何て楽しい毎日を過ごしているんだろう!と思いました。やりたいことを自分で見つけ、やりたいことをやりたいタイミングでやらせていただける環境に感謝だなあと改めて感じました。
- ・1日の流れややりたいことを決めるのって意外と難しいことだと思うので、幼稚園の3年間で養ってほしい力だなと思いました。

「やってみたい」は何処から湧き上がってくるのでしょうか?

こんなことを考えながら子どもたちと過ごし、時に自分に当てはめてみたりしています。(???あれ何?面白そう)と興味を持つこと、(あんな風にしてみたい!)と憧れること、(これ、何?どうなってるの)と不思議に思ったこと etc.「やってみたい」の原動力は様々。

そして「やってみる」と決め、一步踏み出すことの難しさ。一步踏み出したが思うようにはいかず、立ち止まり葛藤することも。そんな時こそ友人をはじめ、その子を取り巻く人たちの存在が大きいと感じています。

毎日、同じ遊びをしているように見えたり、じっと立ち止まっているように見える姿も「やってみたい」からの姿です。見えている姿からその奥にある子どもたちが何を思い、その場に居るのかを理解し、子どもたちのやりたい意欲が探求心となり、もっともっとと試行錯誤し、自己実現できるように気持ちに寄り添い、支えていきたいと思っています。

◆ 日頃を振り返って… ◆

- ・幼稚園から帰ってくると、子どもと向き合って遊ぶ時間はそんなに長く取れません。午前中いっぱい一緒に遊べてとても楽しかったです。
- ・「見て、見て!」「コレできるよ!」と色々見てほしい様子でした。しっかり見て、褒めてあげる(分かってあげる)のは大切なことですね。
- ・自分で考えてやりたいことをし、工夫し、楽しく遊ぶ姿が見られ、普段どれだけ口を出して「あれしてみたら?」「こうしてみたら?」と言って“娘のために!!”と思い込んでいたことに反省しました。
- ・モンキーブリッジに挑戦してくれたことが嬉しかった。2~3回挑戦し、三歩くらいまでしか行けませんでした。挑戦したことでしか感じられない気持ちを本人は感じる事ができたと思います。母はいつか成功する日がとても楽しみです。焦らず、その時をゆっくり待ちたいと思います。

一人ひとり、その子にとってのタイミングというのがあると思います。側で見ている、(ああ〜)とモヤモヤする時も多々あるかと。その気持ちをグッと抑えて、待つことの大切さとその後に行ってくる達成感の喜びを私たち大人は子どもたちから教えられているのかもしれない。



◆ その他… ◆

- ・妹を連れての参加になり心配でしたが、先生や教室にいたママ達、子ども達のおかげで、なんとかやり終えて感謝です。金城の方々の優しさにとってもほっこりしております。
- ・普段から親の出入りが多く、ほぼ「全部見せる」保育は大変だろうと思うし、先生方と保護者の信頼関係や保護者の側の理解も大事だなどと思います。(トラブルもあったり常にベストな時が見れるわけではないので)今この素敵な園のあり方がこれからも続くといいなと思っています。
- ・「こどもニュース」のファンです!(笑)「いっしょにあそぼうの日」に向けて書かれた文章を読み、とても共感・納得し、この園に入ることができて本当に良かったと感じました。“遊び”を通して多くのことを学ぶ金城の子どもたち、今この時期にしかできない、今この時期だからこそするべき貴重な経験をさせてもらっているなど感謝の気持ちでいっぱいです。

保護者の皆さんの連携、助け合いには常々、感謝しています。いっしょにあそぼうの日にも、様々な場面で助け合う姿を目撃し、暖かい気持ちになりました。子どもたちもきっと感じ取っていると思います。

今後も「こどもニュース」を通し、子どもたちの姿やそこから見える子どもたちの様々な思いを受け、どのような意図で関り、支えているのか等をお伝えしていきます。どうぞ、じっくりお読みください。